PC STEALTH

ADVANCED NETWORK LOG TOOL

取扱説明書

Rev1.00 Software Version 1.0

2009 COPYRIGHT© YS Corporation. ALL RIGHTS RESERVED

PC STEALTH
ADVANCED NETWORK LOG TOOL

■はじめに
1-1　確認していただきたいこと
1-2　使用できる環境の確認
1-3　使用するPCの確認　P3

■インストール
2-1　サーバーPCのインストール　P4
2-2　クライアントPCのインストール　P9

■削除
3-1　サーバーPCのアンインストール　P13
3-2　クライアントPCのアンインストール　P15

■初期設定
4-1　管理者のログオン
4-2　一覧表示画面の使い方　P17
4-3　グループ設定　P18
4-4　クライアントの削除　P19
4-5　管理者のパスワードの設定　P20
4-6　表示方法の設定　P21
4-7　監視設定　P22
4-8　アプリケーション禁止設定　P24
4-9　ファイル監視対象拡張子登録　P26

■バックアップの設定
5-1　自動バックアップ設定　P28
5-2　展開　P29

■表示の見かた
6-1　代表的なログ　P30
6-2　メールログの表示　P31
6-3　ファイルログの表示　P32
6-2　キャプチャログ表示　P33
6-3　検索/エクスポート　P34

■レポート
7-1　レポートの選択　P35
7-2　レポートの表示　P36

■一覧ログ
8-1　一覧ログ　P37

■はじめに

1-1　確認していただきたいこと

この度は、高機能ネットワーク型PC監視システム“PCステルス”をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
つきましては、正しい使い方を十分ご理解いただき、事故の発生やプライバシーを侵害すること無いよう十分にご留意ください。
また、本ソフトウエアはPCからの情報流出を完全に防ぐものではないと同時に、全てのログを保障するものではありませんのでご理解いただいたうえでお使いくださいますようお願いいたします。

1-2　使用できる環境の確認

○　本プログラム1本につきサーバーPC1台。
○　クライアントPC無制限。ただし、15台以下程度を推奨。
○　サーバーPC/クライアントPC共に対応OSが正しく動作していること。
○　TCP/IPでネットワーク構築されていること。
○　サーバーがインターネットに接続されていること。
○　類似ソフトウエアが既にインストールされていないこと。

1-3　使用するPCの確認

○サーバー

動作OS;　Windows2000professional/Windows XP/Windows Vista
CPU;　Intel Pentium4 程度以上のもの
メモリ;　256MB以上
ハードディスク;　取得ログ以上の空き（クライアントあたり1GB以上の空きを推奨）
画面解像度；　1024*768 High Color 以上

○クライアント

動作OS;　Windows2000professional/Windows XP/Windows Vista
CPU;　Intel Celeron500MHz 程度以上のもの
メモリ;　256MB以上
ハードディスク;　取得ログ以上の空き（1GB以上の空きを推奨）

※Windows98ならびにWindows Meには対応しておりません。

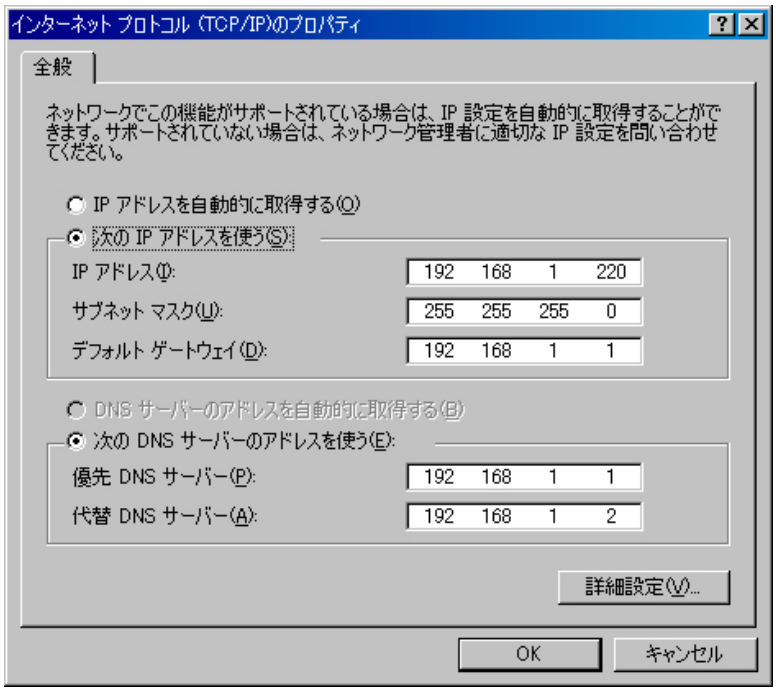
■インストール

2-1　サーバーPCのインストール

　はじめに、ログを収集する親機となるサーバーを決定します。
このPCはクライアントの全てのログを見ることができますので、十分注意して責任者の方や管理者の方が管理してください。
　普段からお使いのPCにもインストールすることができますが、非常に高負荷になった時の動作に影響を与えたり、電源のオンオフを繰り返しますので、一部、その時点のログが記録できない可能性があります。
　また、サーバーはネットワーク上で1台のみです。

①サーバーのIPアドレスを固定します。（Windows XPを例に説明します。）

「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「ネットワーク接続」→
「ローカルエリア接続」→（右クリック）「プロパティ」→
「インターネットプロトコロTCP/IP」を選択→「プロパティ」→
「次のIPアドレスを使う」
本画面で、サーバーのIPアドレスを固定してください。同一サブネットマスク内ならばどのアドレスでも結構です。



☆参考

この例では、

IP;　192.168.1.220/24
GW;　192.168.1.1
DNS;　192.168.1.1
　　192.168.1.2

を設定した場合です。
この値はお客様の環境によって異なります。

設定後、インターネットに接続できて正しくPCが動作するか確認します。

②インストールCDをセットします。

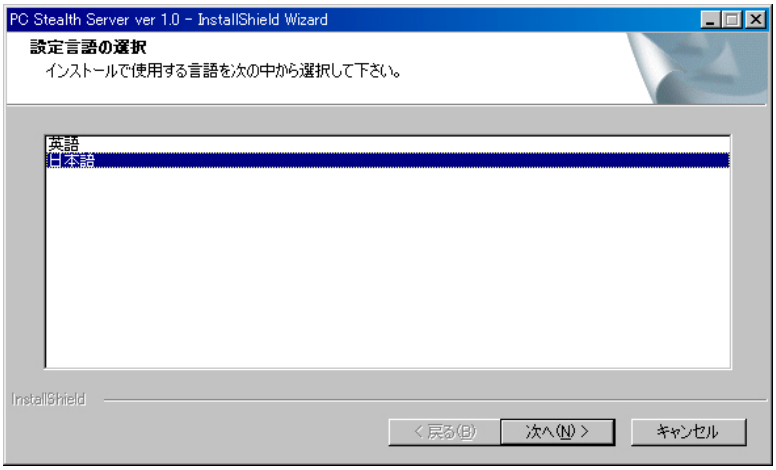
自動的にインストーラー画面が立ち上がります。
自動的に立ち上がらない場合は、CD内のmenu.exeを起動してください。

☆参考

「取扱説明書の閲覧」
を選ぶと説明書が開きます。
「インストールの終了」
を選ぶとインストールは終了されます。

「サーバーのインストール」を選択してください。

③言語の選択で「日本語」を選択します。



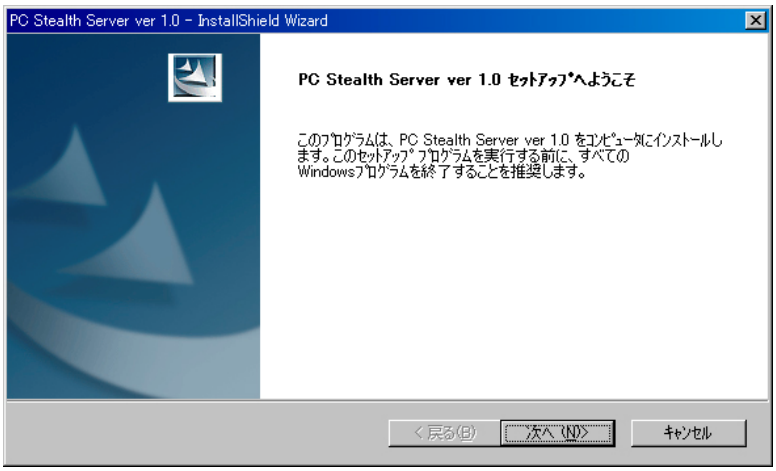
☆参考

この言語の選択はインストーラーのみ対象で、ソフトウエアは日本語のみに対応しております。

「次へ」を選択してください。

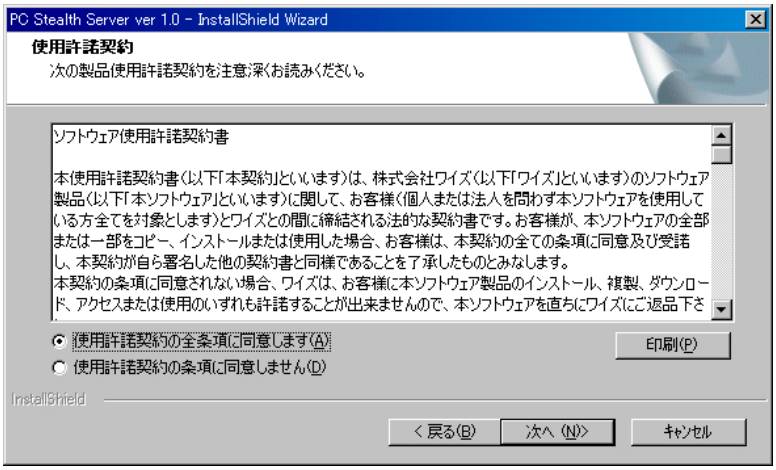
④セットアップへようこそが表示されます。

指示に従い、全ての実行しているWindowsプログラムを終了してください。



「次へ」を選択してください。

⑤使用許諾契約を良くお読みになったうえで、
「使用許諾契約の全条項に同意します」を選択してください。

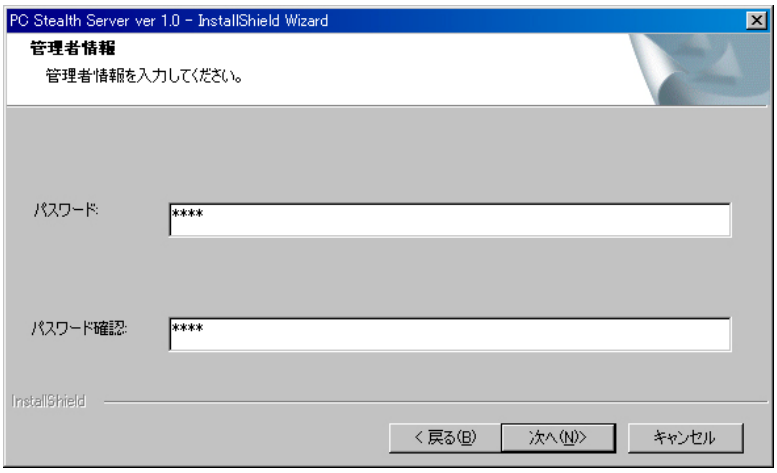


☆参考

使用許諾契約は印刷することもできます。

「次へ」を選択してください。

⑥管理者用のパスワードを入力します。
パスワードは最小1文字から24文字までの半角英数字が使用可能です。

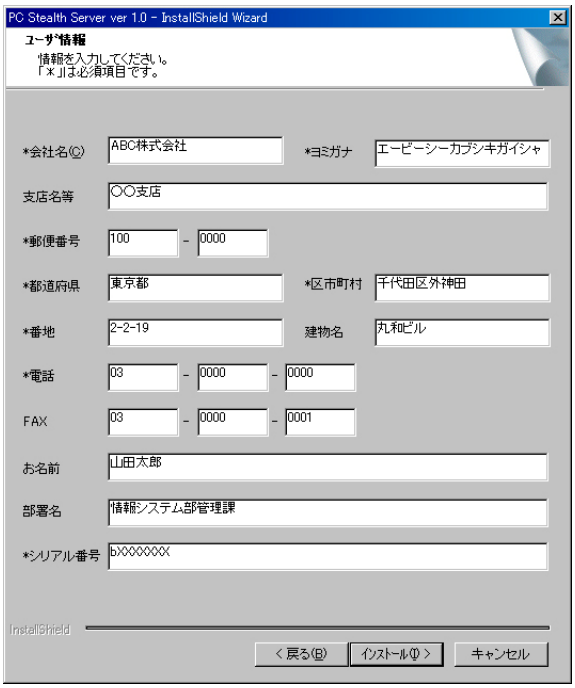


☆参考

「パスワード」と「パスワード確認」が異なるとエラーになります。

「次へ」を選択してください。

⑦お客様情報とシリアル番号を入力します。



☆参考

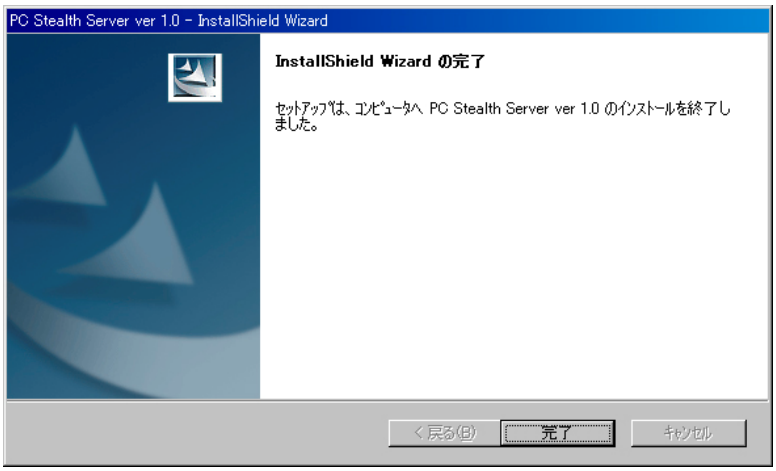
*が付いている項目は必須です。
入力には半角カタカナは使用せずに、全角文字・半角英数を使用してください。

シリアル番号は製品同梱のカードをご覧ください。
また、お問い合わせの際には必ず必要になりますので、大切に保管ください。
シリアルは必ず半角英数で入力してください。

認証に失敗した場合はエラーメッセージが表示されます。項目に漏れが無いか、シリアルが正しいか、正しくインターネットに接続されているかご確認ください。

「次へ」を選択してください。

⑧インストールが終了します。



☆参考

万が一、途中でエラーが発生した場合は、一度アンインストールしてから最初からやり直してください。
その際、同じシリアル番号ではエラーが発生しますので、弊社サポートにご連絡ください。

「完了」を選択してください。

⑨場合により、再起動を促される場合があります。

■サーバーを起動するためには「スタート」→「プログラム」→「PCステルス」のショートカットを実行してください。
このショートカットをコピーしてデスクトップなどにおいて使うこともできます。

2-2　クライアントPCのインストール

①インストールCDをセットします。

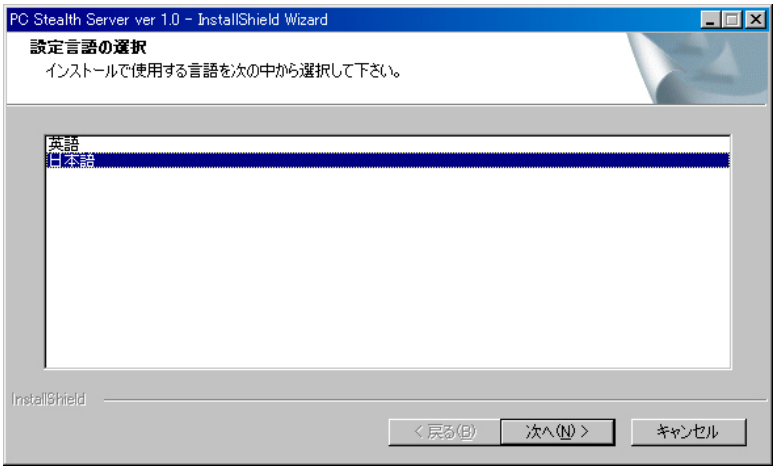
自動的にインストーラー画面が立ち上がります。
自動的に立ち上がらない場合は、CD内のmenu.exeを起動してください。

☆参考

「取扱説明書の閲覧」
を選ぶと説明書が開きます。
「インストールの終了」
を選ぶとインストールは終了されます。

「クライアントのインストール」を選択してください。

②言語の選択で「日本語」を選択します。



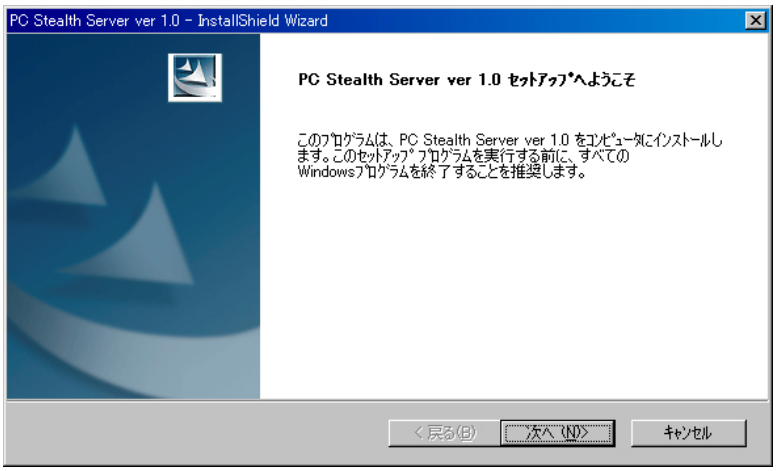
☆参考

この言語の選択はインストーラーのみ対象で、ソフトウエアは日本語のみに対応しております。

「次へ」を選択してください。

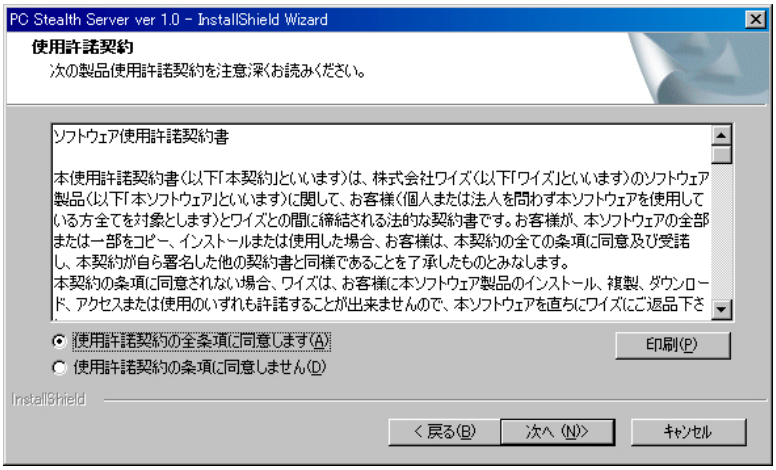
③セットアップへようこそが表示されます。

指示に従い、全ての実行しているWindowsプログラムを終了してください。



「次へ」を選択してください。

④使用許諾契約を良くお読みになったうえで、
「使用許諾契約の全条項に同意します」を選択してください。

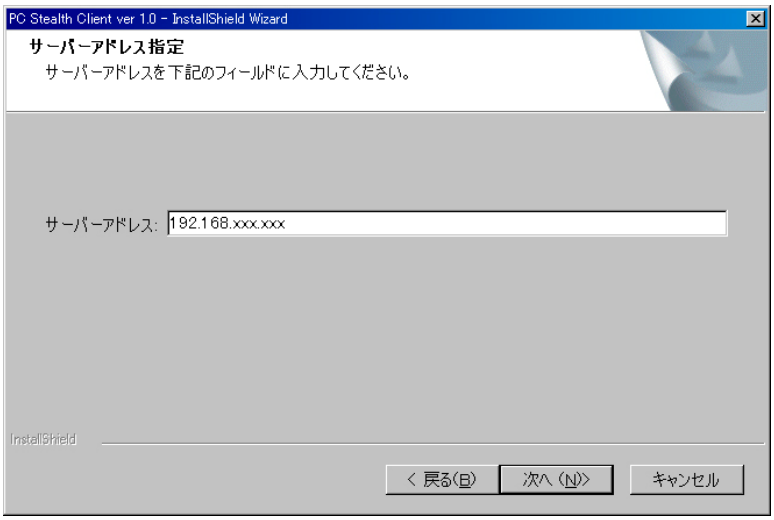


☆参考

使用許諾契約は印刷することもできます。

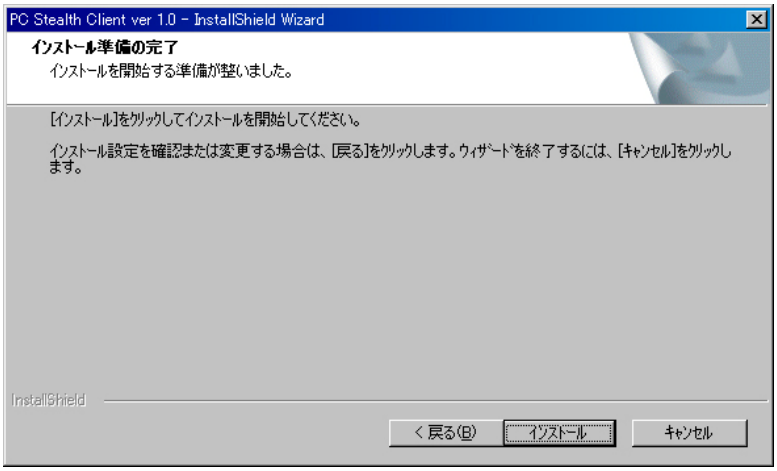
「次へ」を選択してください。

⑥2-1-①で決めたサーバーのIPアドレスを入力します。
IPアドレスは半角英数字で入力してください。



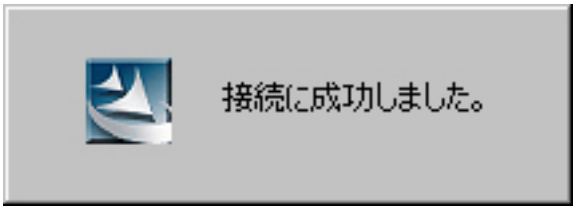
「次へ」を選択してください。

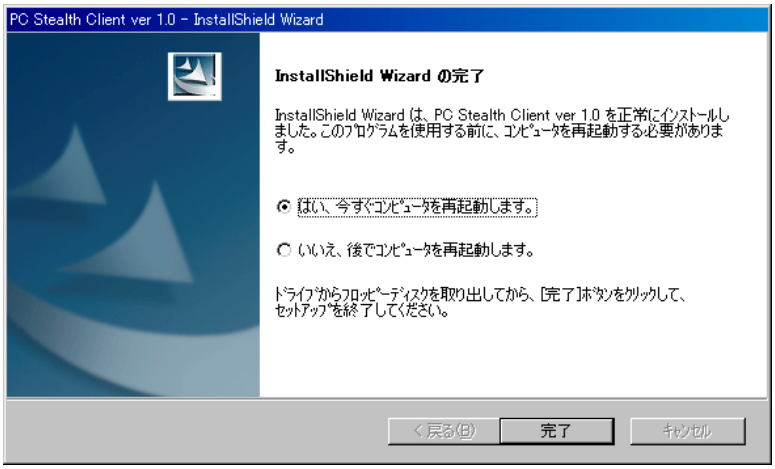
⑦インストール準備の完了。



「次へ」を選択してください。

⑧インストール作業のあと、サーバーとの接続に成功すると以下の表示になり、再起動が促されます。「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択します。





「完了」を選択してください。

「接続に失敗しました。インストールを中止します。」と出た場合は…

■pingコマンドなどで、正しくサーバーと通信できるか確認してください。
■HUBやLANケーブルを確認してください。
■WindowsファイヤーウォールやNetstealthPCセキュリティーなどのソフトウエアファイアウォールでPCSclient¥YSclient.exeを許可してください。
■サーバー側も、同じように、¥PCStealth¥PCSServer¥YSServer.exeを許可してください。
■VPNなどの場合は、Windowsファイル共有ができるか確認してください。

■削除・アンインストール

3-1　サーバーPCのアンインストール

　サーバーPCからソフトウエアを削除します。今まで保存されていたログは、バックアップを除き全て削除されますのでご注意ください。
　また、クライアントのプログラムは削除されません。次に同じIPアドレスでサーバーをインストールすると自動的にクライアントは追加されます。

①インストールCDをセットします。

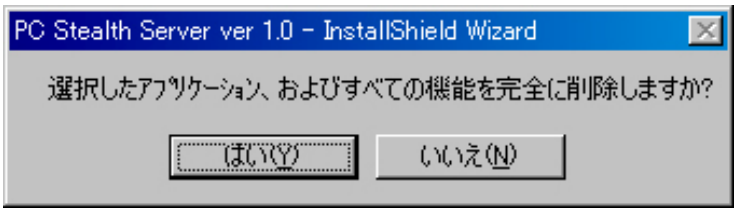
　自動的にインストーラー画面が立ち上がります。
　自動的に立ち上がらない場合は、CD内のmenu.exeを起動してください。

☆参考

「取扱説明書の閲覧」
を選ぶと説明書が開きます。
「インストールの終了」
を選ぶとインストールは終了されます。

「サーバーのインストール」を選択してください。

②アンインストール確認画面が表示されます。

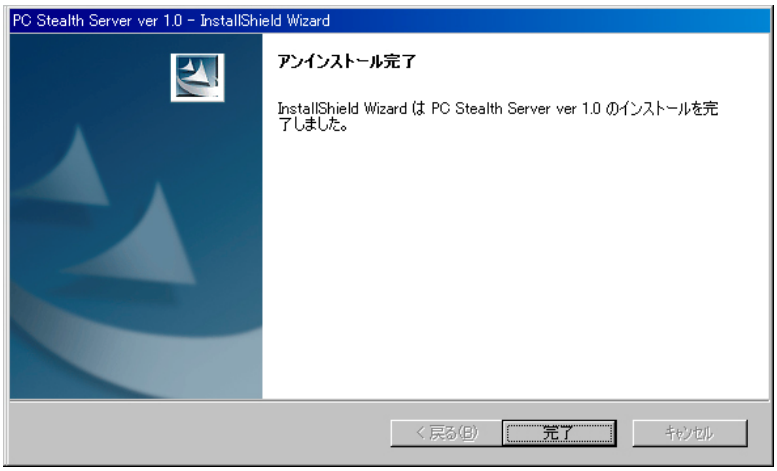


☆参考

「いいえ」
を選ぶとアンインストールが中止されます。

「はい」を選択してください。

③アンインストールが完了します。



「完了」を選択してください。

プログラムの追加と削除からもアンインストールできます。

「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→
「プログラムの追加と削除」→「PC Stealth Server ver XX」→「削除」

■削除・アンインストール

3-2　クライアントPCのアンインストール

　クライアントPCからソフトウエアを削除します。今までローカルに保存されていたログは全て削除されますのでご注意ください。
　また、サーバーのプログラムは削除されません。また、サーバーの一覧からは自動的に削除されませんので、必要に応じて管理者が削除操作を行ってください。

①インストールCDをセットします。

　自動的にインストーラー画面が立ち上がります。
　自動的に立ち上がらない場合は、CD内のmenu.exeを起動してください。

☆参考

「取扱説明書の閲覧」
を選ぶと説明書が開きます。
「インストールの終了」
を選ぶとインストールは終了されます。

「クライアントのインストール」を選択してください。

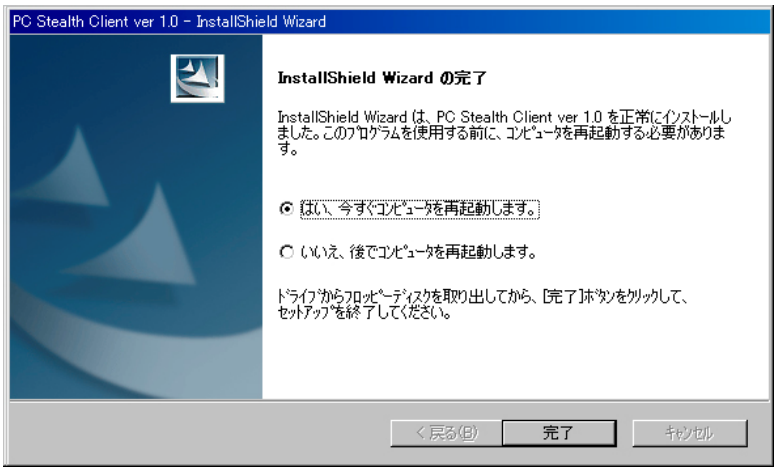
②アンインストール確認画面が表示されます。

☆参考

「いいえ」
を選ぶとアンインストールが中止されます。

「はい」を選択してください。

⑧アンインストールが終了すると　再起動が促されます。
「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択します。



「完了」を選択してください。

クライアントはプログラムの追加と削除からはアンインストールできません。

アンインストールには必ずインストール時に使用したCDが必要になりますので、
必ず大切に御保管ください。

■初期設定

4-1　管理者のログオン

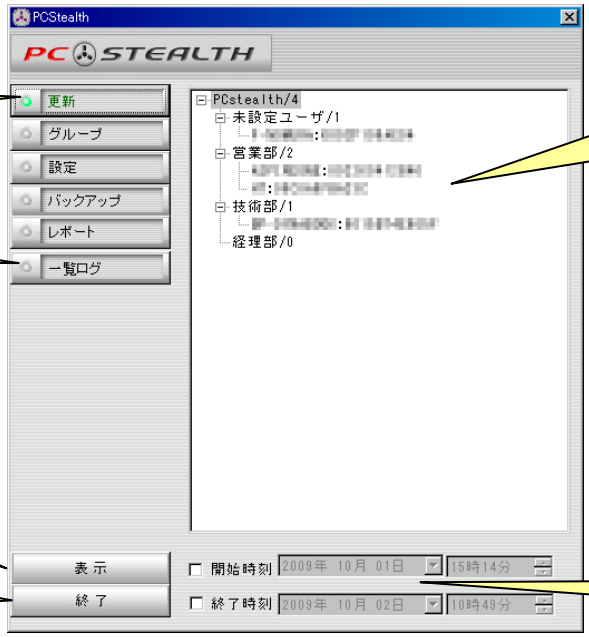
2-1-⑥で決めたパスワードを入力します。

☆参考

「終了」を選ぶとプログラムの起動が終了します。

「ログオン」を選択してください。

4-2　一覧表示画面の使い方



更新ボタン

クライアントを追加した場合やログを更新反映したい場合に選択します。

一覧ログ

全種類のログを一画面で閲覧したい場合に使用します。

表示画面へ

プログラムの終了

クライアントリスト

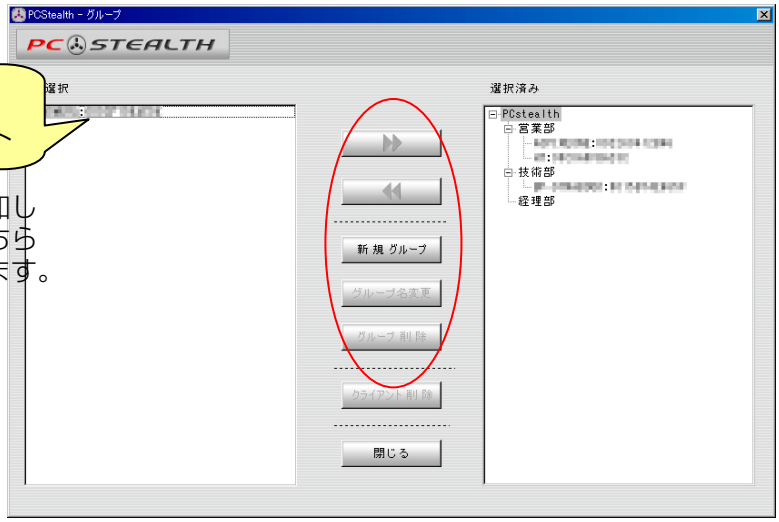
クライアントを追加するとここに追加されます。
PCstealth/全体、グループ、クライアント単位で選択できます。

時刻時間を区切ってログ閲覧を行いたい場合に使用します。

時刻範囲指定

4-3　グループ設定　≪一覧画面から「グループ」を選択します。

クライアントをグループごとにまとめることができます。



未選択
クライアント

クライアントを追加した場合は、まずこちらの未選択に加わります。

☆参考

クライアントの名前は、
コンピュータ名:MACアドレスです。

①新しいグループを作る
「新規グループ」を選択し、新しいグループ名欄に名前を入力します。
名前は最大30文字までです。「登録」を選択します。

②グループにクライアントを追加する
左側の未選択クライアントを指定します。
右側の追加したいグループを指定します。
右向きの矢印を選択すると追加されます。

③グループからクライアントを削除する
右側のクライアントを指定します。
左向きの矢印を選択すると未選択に戻ります。

④グループ名を変更する
右側のグループを指定します。「グループ名変更」を選択し、
新しいグループ名を入力します。名前は最大30文字までです。
「登録」を選択します。

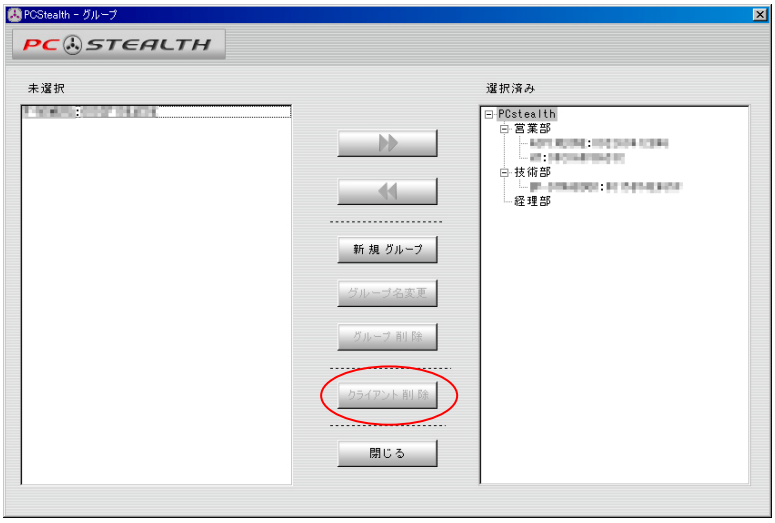
⑤グループ名を削除する
右側のグループを指定します。「グループ削除」を選択します。
確認メッセージで「はい」を選択すると、グループは削除され、
所属クライアントは未選択に戻ります。

■操作が終了したら、「閉じる」を選択します。

4-4　クライアントの削除　≪一覧画面から「グループ」を選択します。

　クライアントを削除します。ただし、先に、クライアントプログラムをアンインストールしないと、クライアントを自動検出してまた追加されます。

　ただし、削除した時点までのログは消去されますので、バックアップを取るなどこの操作時にはご注意ください。



①クライアントを削除する
　クライアントを指定します。「クライアント削除」を選択します。
　確認メッセージで「はい」を選択すると、クライアントは削除されます。

■操作が終了したら、「閉じる」を選択します。

4-5　管理者パスワードの変更　≪一覧画面から「設定」を選択します。

管理者のパスワードを変更することができます。

☆参考

パスワードは1文字から24文字までの半角英数です。

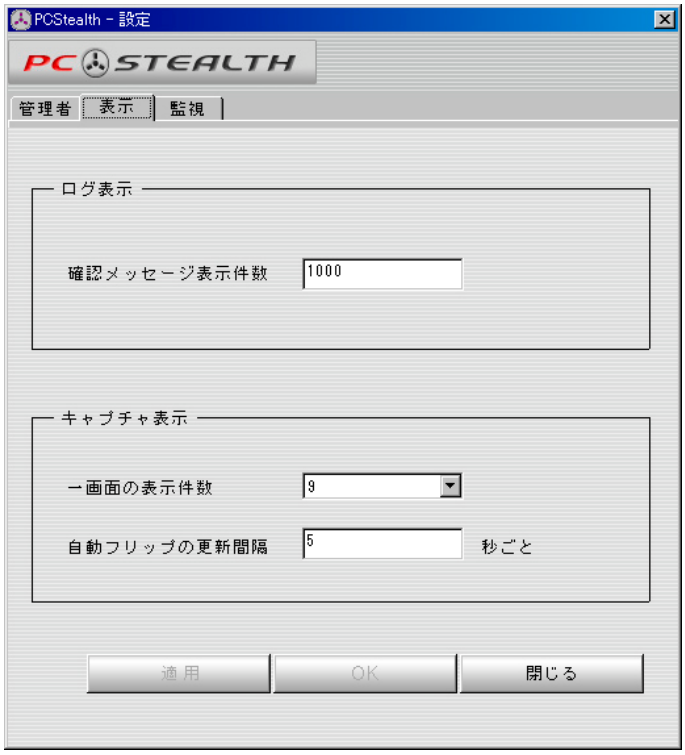
①管理者タブを開きます。

②「今のパスワード」に現在使用しているパスワード、
「新しいパスワード」に新パスワード、「パスワードの確認」確認のために同じパスワードを入力してください。

■操作が終了したら、「閉じる」を選択すると保存せず画面を閉じます。
■「適用」を選択すると内容が更新されます。
■「OK」を選択すると内容が更新され画面が閉じます。

4-6　表示方法の設定　≪一覧画面から「設定」を選択します。

行数が多く表示に時間がかかる場合の警告と、画面キャプチャの表示の方法を設定します。



☆参考

確認メッセージ表示行数は、
1000～65000行です。

☆参考

自動フリップの更新間隔は、
1～30秒です。

①表示タブを開きます。

②「確認メッセージ表示件数」は、ログ表示する場合に、行数が多いと時間がかかります。
そのため、表示する前に設定した行数で警告を出すことができます。

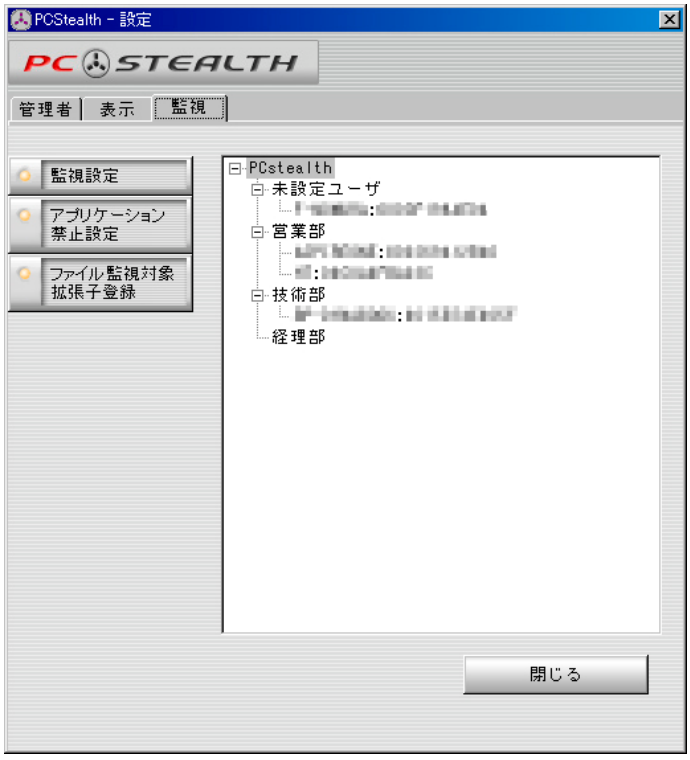
③「一画面の表示件数」は1/4/9/12分割から選択できます。
お使いの画面の解像度やサイズから見やすいものを選択してください。

④「自動フリップの更新間隔」は自動的にキャプチャ画面を切り替えて閲覧する場合のタイミングの設定です。

■操作が終了したら、「閉じる」を選択すると保存せず画面を閉じます。
■「適用」を選択すると内容が更新されます。
■「OK」を選択すると内容が更新され画面が閉じます。

4-7　監視設定の変更　≪一覧画面から「設定」を選択します。

監視タイミングなどの詳細な設定ができます。
アプリケーションの動作禁止を設定することができます。
監視対象の拡張子を設定することができます。



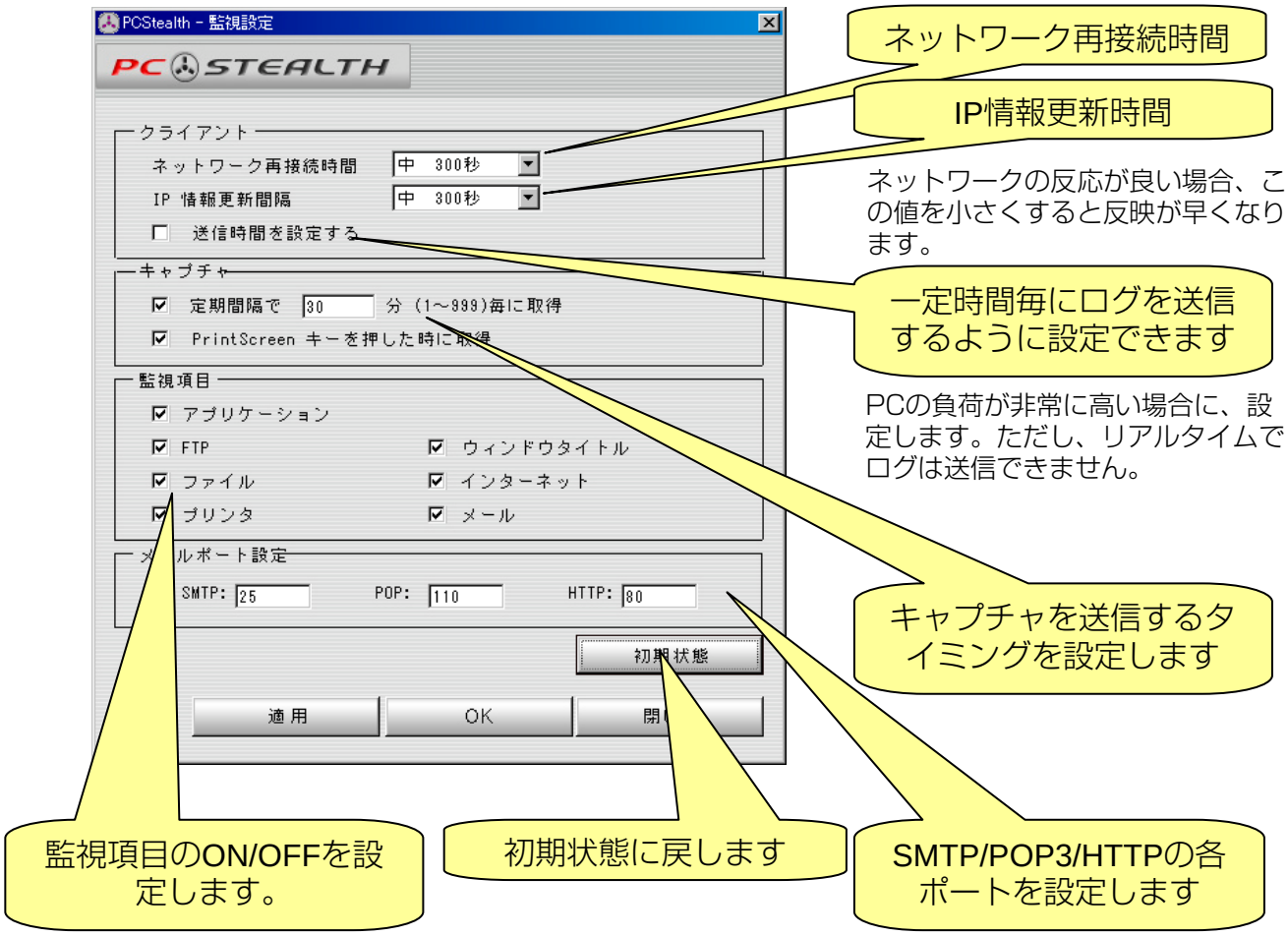
①監視タブを開きます。

②変更したい、全体PCstealth/・グループ・クライアントのいずれかを指定します。
グループで一括設定した場合にクライアントにさらに変更をした場合など、表示ができず灰色で表示することがあります。

③「監視設定」を選択します。

■操作が終了したら、「閉じる」を選択します。

③監視設定に関する詳細設定画面が開きます。



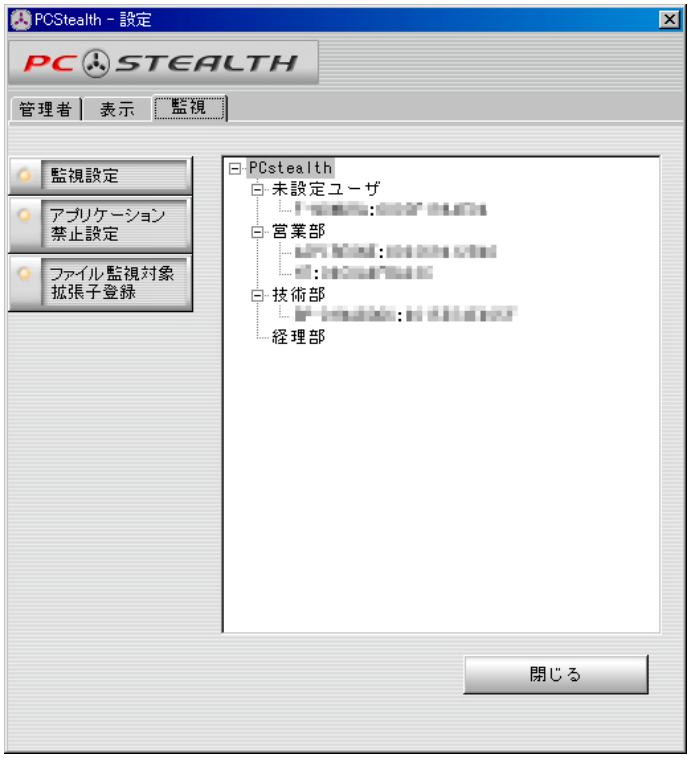
■監視項目が多いほど、また、監視タイミングが短いほど、サーバー・クライアント・ネットワーク全てに負荷が高くなります。
使用に問題がでるほど、負荷が高い場合は、必要なものだけを選択して監視をしてください。

■サーバーとクライアントの通信タイミングにより、設定の変更はすぐに反映されるとは限りません。
場合によっては、クライアントが再起動するまで反映しない場合があります。

■操作が終了したら、「閉じる」を選択すると保存せず画面を閉じます。
■「適用」を選択すると内容が更新されます。
■「OK」を選択すると内容が更新され画面が閉じます。

4-8　アプリケーション禁止設定　≪一覧画面から「設定」を選択します。

監視タイミングなどの詳細な設定ができます。
アプリケーションの動作禁止を設定することができます。
監視対象の拡張子を設定することができます。



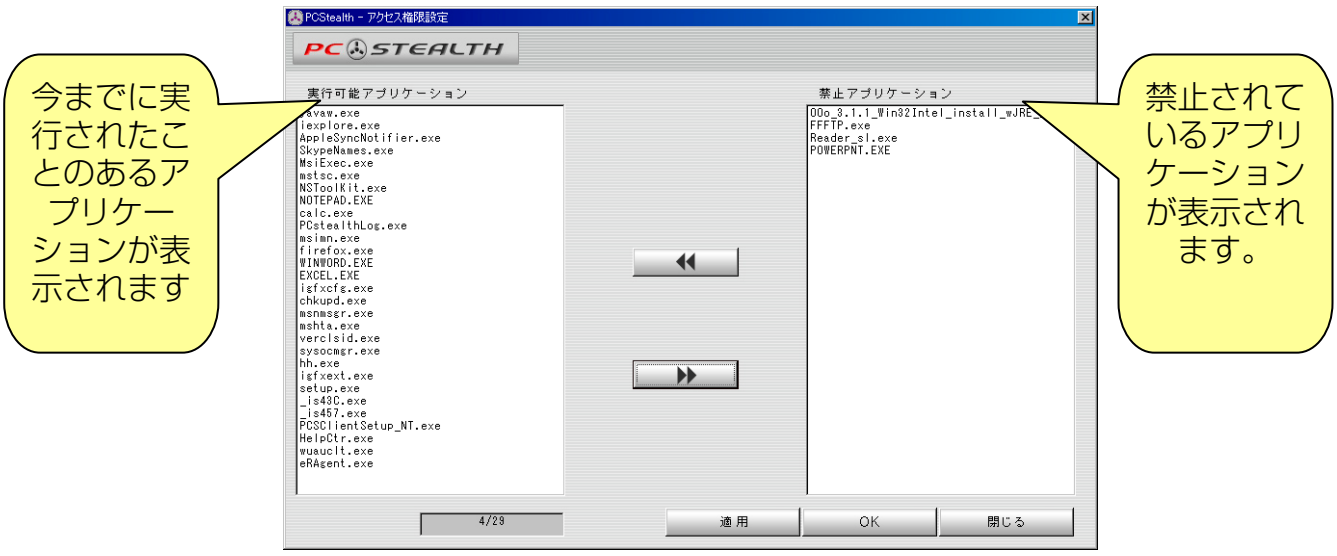
①監視タブを開きます。

②変更したい、全体PCstealth/・グループ・クライアントのいずれかを指定します。
グループで一括設定した場合にクライアントにさらに変更をした場合など、表示ができず灰色で表示することがあります。

③「アプリケーション禁止設定」を選択します。

■操作が終了したら、「閉じる」を選択します。

③アクセス禁止にするアプリケーションを設定する画面が開きます。



①アプリケーションのアクセスを禁止する。
左側の「実行可能アプリケーション」からアクセス禁止にしたいアプリケーションを選択します。
右向きの矢印を選択します。右の禁止アプリケーションに追加されます。

②アプリケーションのアクセスを禁止を解除する。
右側の「禁止アプリケーション」からアクセス可能にしたいアプリケーションを選択します。
左向きの矢印を選択します。左の実行可能アプリケーションに追加されます。

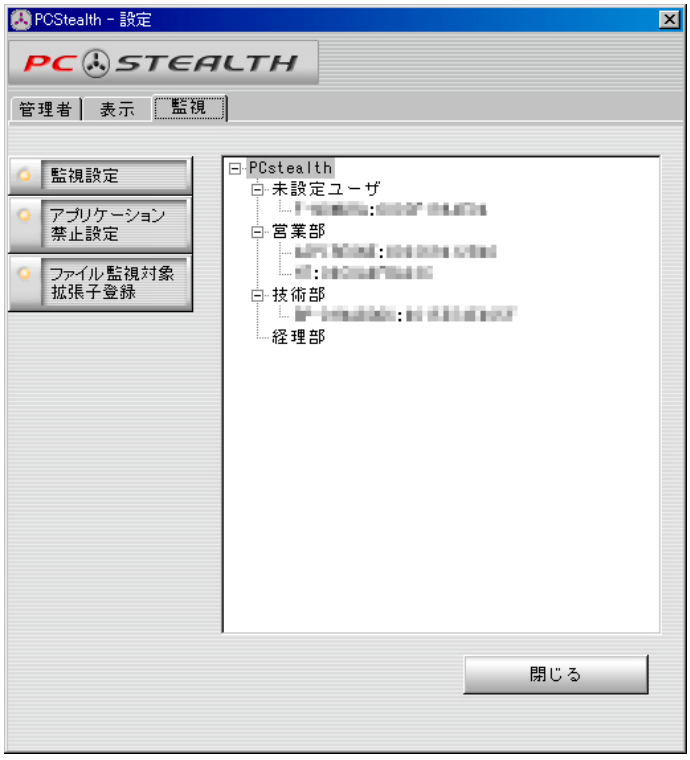
■サーバーとクライアントの通信タイミングにより、設定の変更はすぐに反映されるとは限りません。
場合によっては、クライアントが再起動するまで反映しない場合があります。

■禁止アプリケーションを立ち上げようとした場合、クライアントに警告などは出ません。

■操作が終了したら、「閉じる」を選択すると保存せず画面を閉じます。
■「適用」を選択すると内容が更新されます。
■「OK」を選択すると内容が更新され画面が閉じます。

4-9　ファイル監視対象拡張子登録　≪一覧画面から「設定」を選択します。

監視タイミングなどの詳細な設定ができます。
アプリケーションの動作禁止を設定することができます。
監視対象の拡張子を設定することができます。



①監視タブを開きます。

②変更したい、全体PCstealth/・グループ・クライアントのいずれかを指定します。
グループで一括設定した場合にクライアントにさらに変更をした場合など、表示ができず灰色で表示することがあります。

③「ファイル監視対象拡張子登録」を選択します。

■操作が終了したら、「閉じる」を選択します。

④監視したいファイルの拡張子を設定できます。

☆参考

拡張子に付く”.”の入力は不要です。

①ファイル監視対象拡張子を増やす。
下の欄に拡張子を入力し、「追加」を選択します。

②ファイル監視対象拡張子を減らす。
上の欄の拡張子を指定し、「削除」を選択します。

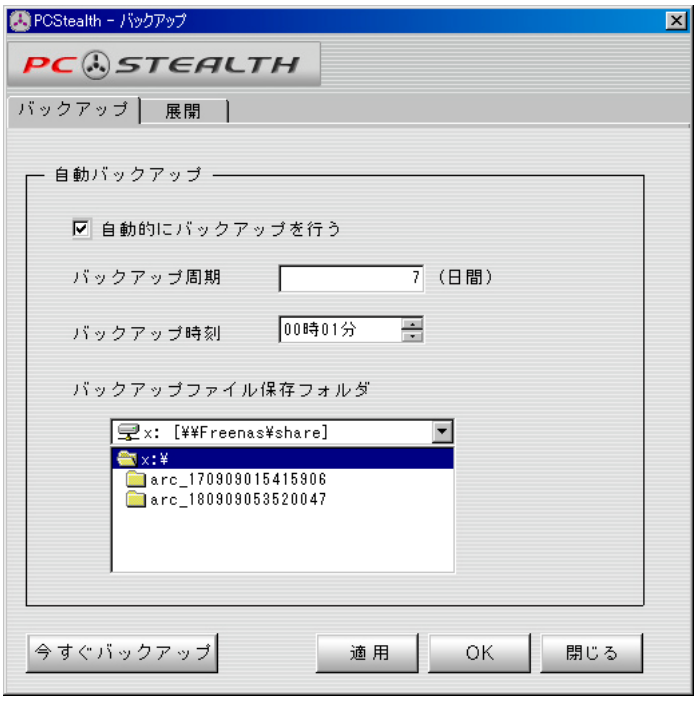
■サーバーとクライアントの通信タイミングにより、設定の変更はすぐに反映されるとは限りません。
場合によっては、クライアントが再起動するまで反映しない場合があります。

■監視対象拡張子が多いほど、サーバー・クライアント・ネットワーク全てに負荷が高くなります。
使用に問題がでるほど、負荷が高い場合は、必要なものだけを選択して監視をしてください。

■操作が終了したら、「閉じる」を選択すると保存せず画面を閉じます。
■「適用」を選択すると内容が更新されます。
■「OK」を選択すると内容が更新され画面が閉じます。

5-1　自動バックアップ設定　≪一覧画面から「バックアップ」を選択します。

一定期間で自動的にバックアップを取ります。



①バックアップタブを開きます。

②「自動的にバックアップを行う」にチェックをすると、一定の周期でバックアップファイルを生成します。周期は日単位でバックアップ時刻を設定します。

③バックアップファイル保存フォルダを設定します。
ネットワークドライブに割り当てると共有フォルダに保存することができます。

④「今すぐバックアップ」を選択すると、現在記録されているログをバックアップします。

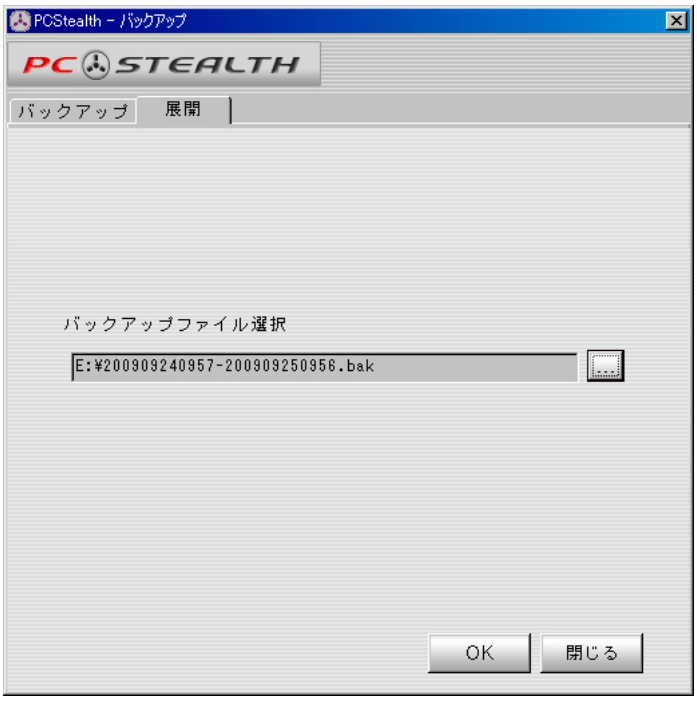
④バックアップが終了するとサーバーのデータは消去されます。

■生成されるファイル名はyyyymmddhhmm-yyyymmddhhmm.bak形式です。
記録されているログの一番古い日時-バックアップ時の日時です。

■サーバーに過多なデータが溜まると様々な不具合が発生します。
できるだけ、こまめにバックアップを行うようにしてください。

■操作が終了したら、「閉じる」を選択すると保存せず画面を閉じます。
■「適用」を選択すると内容が更新されます。
■「OK」を選択すると内容が更新され画面が閉じます。

5-2　展開　≪一覧画面から「バックアップ」を選択します。
バックアップされたデータを閲覧します。



①展開タブを開きます。

②「。。。」を指定してバックアップファイルを呼び出します。

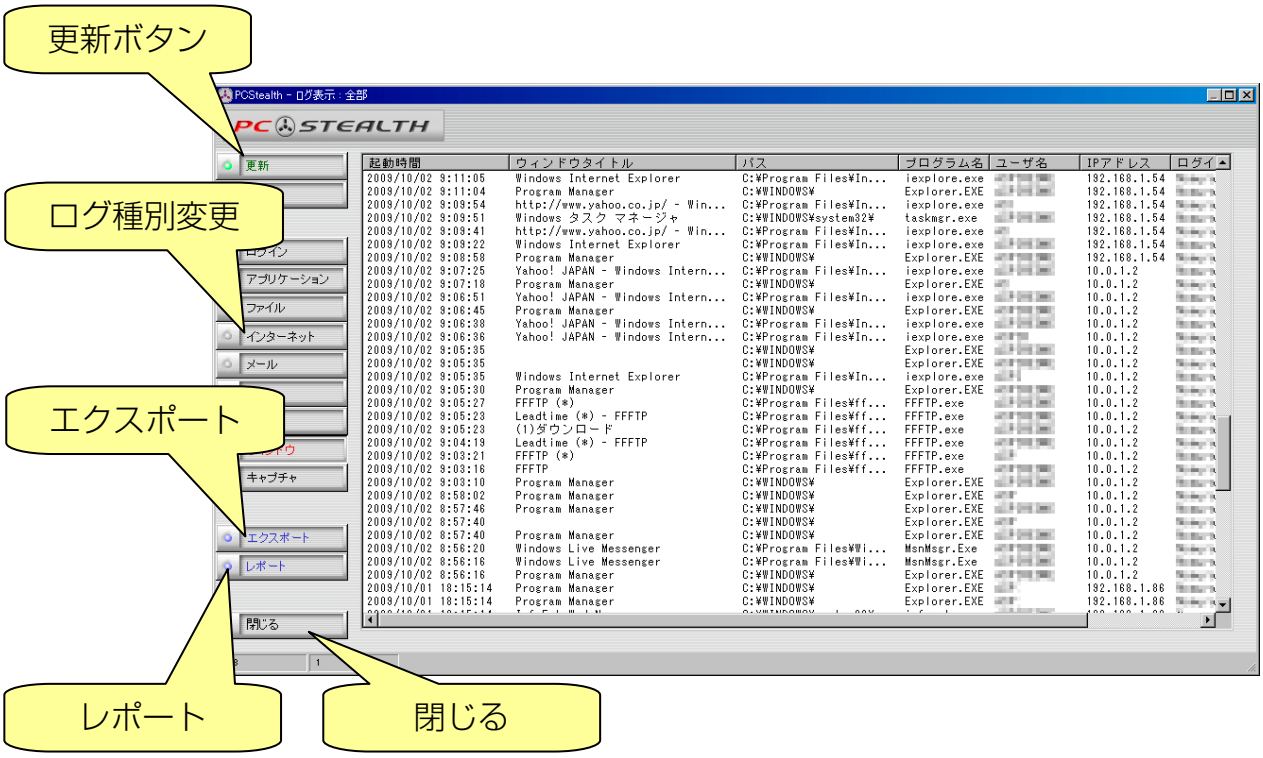
■バックアップログの閲覧時の機能などは通常のログの閲覧と同じです。
ただし、バックアップログ閲覧画面は、背景色が水色になります。

■操作が終了したら、「閉じる」を選択すると保存せず画面を閉じます。
■「OK」を選択するとバックアップログの閲覧ができます。

6-1　代表的なログの表示　≪一覧画面から対象を指示し「表示」を選択します。

左側のボタンで9種類のログ内容を切り替えることができます。
ここでは、代表的な例として“ウィンドウタイトル”の画面を例に取ります。

項目はそれぞれ変わりますが、ログイン・アプリケーション・インターネット・FTP・プリンタ・ウィンドウは同じ表示方法です。



■各項目の幅はドラッグで変更できます。ダブルクリックで最大幅になります。
■表示幅が限られますので、左右のスクロールバーを使用してください。
■画面の自動更新は行われません。「更新」ボタンの選択で最新の状態を表示することができます。

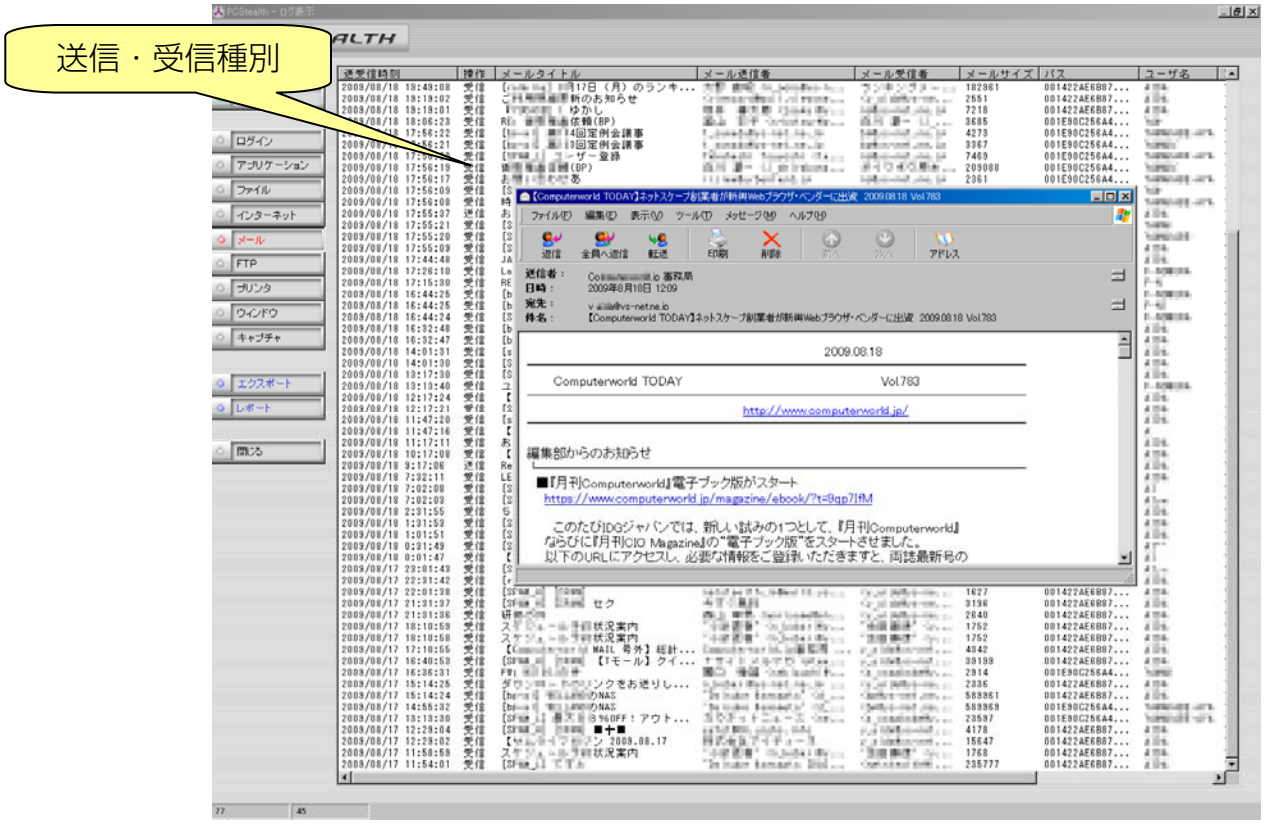
■サーバー非接続時にはクライアントPC自体にログを蓄積しますが、切り替えのタイミングなどによっては一部正常に取得しない場合があります。
■「インターネット」ログに際して、一部タイトルが正常に取得できない場合があります。
その場合でも、URLは正しく取得しています。
■「プリンタ」ログに際して、出力枚数ではなく、出力部数を表示します。

■操作が終了したら、「閉じる」を選択します。

6-2　メールログの表示　≪一覧画面から対象を指示し「表示」を選択します。

“メール”の画面を例に取ります。

受信・送信ともにログ列をダブルクリックすると、サーバーに設定してある
標準のメーラーでその内容を閲覧することができます。
また添付ファイルも閲覧することができます。



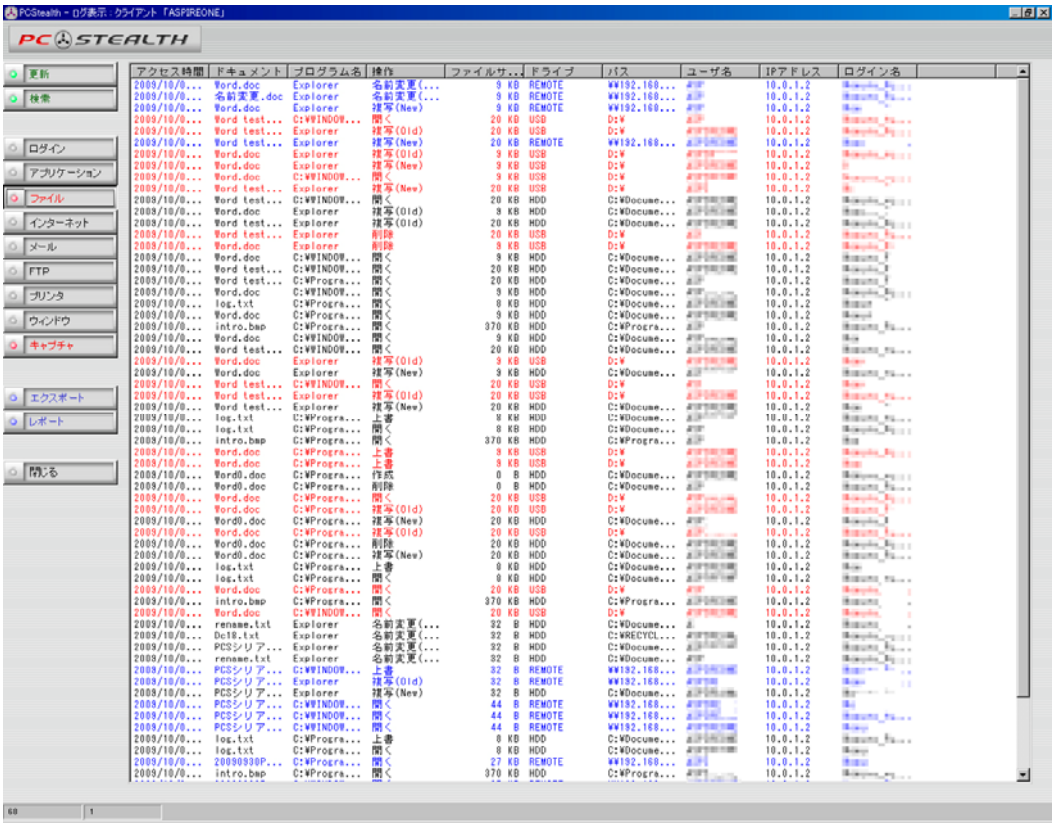
■各項目の幅はドラッグで変更できます。ダブルクリックで最大幅になります。
■表示幅が限られますので、左右のスクロールバーを使用してください。
■画面の自動更新は行われません。「更新」ボタンの選択で最新の状態を表示することができます。
■サーバー非接続時にはクライアントPC自体にログを蓄積しますが、切り替えのタイミングなど
によっては一部正常に取得しない場合があります。

■操作が終了したら、「閉じる」を選択します。

6-3　ファイルログの表示　≪一覧画面から対象を指示し「表示」を選択します。

“ファイル”の画面を例に取ります。

ファイル操作の、ネットワーク上のものは青色、USBなど外部メモリは赤色で表示します。作成・開く・上書・複写(old)・複写(New)・名前変更(Old)・名前変更(New)・削除の８種類の変更を記録します。



■各項目の幅はドラッグで変更できます。ダブルクリックで最大幅になります。

■表示幅が限られますので、左右のスクロールバーを使用してください。

■画面の自動更新は行われません。「更新」ボタンの選択で最新の状態を表示することができます。

■サーバー非接続時にはクライアントPC自体にログを蓄積しますが、切り替えのタイミングなどによっては一部正常に取得しない場合があります。

■操作が終了したら、「閉じる」を選択します。

6-4　キャプチャログの表示　≪一覧画面から対象を指示し「表示」を選択します。
“キャプチャ”の画面を例に取ります。

画面の例は、設定→表示で9画面を選択した場合です。

■対象画像上でダブルクリックすると等倍表示になります。

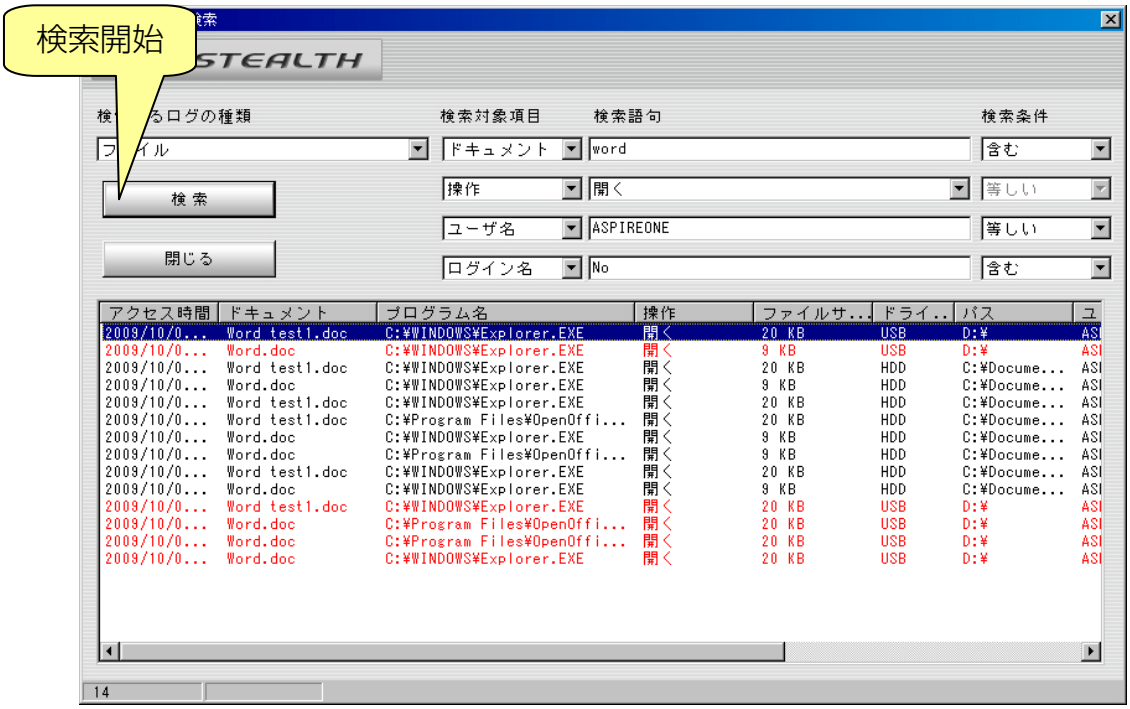
■サーバー非接続時にはクライアントPC自体にログを蓄積しますが、切り替えのタイミングなどによっては一部正常に取得しない場合があります。

■操作が終了したら、「閉じる」を選択します。

6-5　検索/エクスポート　≪一覧画面から対象を指示し「表示」を選択します。

左上の「検索」を選択すると、最大4つまでの条件をつけてログを検索することができます。

検索条件の「含む」は入力語句が一部でも含まれるもの（部分一致）、「等しい」は入力語句の全てが一致するもの（全文一致）です。



■各項目の幅はドラッグで変更できます。ダブルクリックで最大幅になります。
■表示幅が限られますので、左右のスクロールバーを使用してください。

■エクスポート

ログの種類によってはCSV形式でのエクスポートができます。

Microsoft Excelがインストールされている場合は、そのまま連携して表示します。
また、ファイル名をを付けて保存することもできます。

■操作が終了したら、「閉じる」を選択します。

7-1　レポートの選択　≪一覧画面から対象を指示し「レポート」を選択します。
≪ログ画面から「レポート」を選択します。

19種類のログからレポートを作成できます。

■希望するレポート種類を選択してから、
「選択」を選択します。

■ログの種類によってさらに選択方法があります。

グラフ表示

グラフ表示とリスト表示

ユーザー(クライアント)で表示、ログで表示
昇順・降順の選択

月次・日次の選択

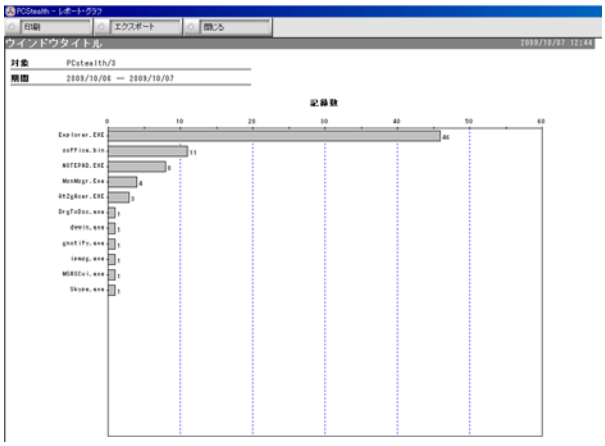
■一覧画面と同じ表示でレポート出力対象を選択します。
■「グラフ」もしくは「リスト」を選択し、レポートを表示させます。

■操作が終了したら、「閉じる」を選択します。

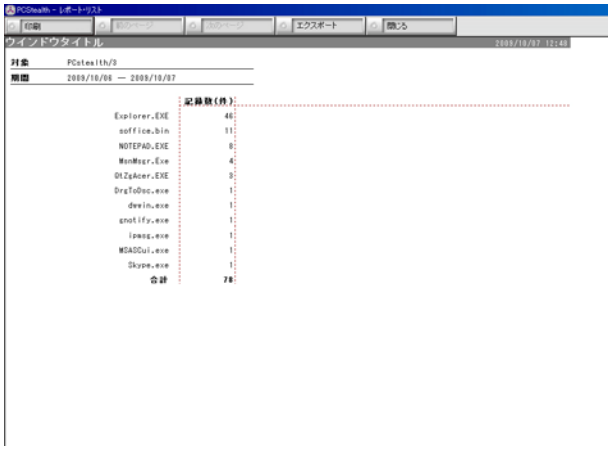
7-2　レポートの表示　≪一覧画面から対象を指示し「レポート」を選択します。
≪ログ画面から「レポート」を選択します。

ここでは、代表的な例として“ウィンドウタイトル”のレポートを例に取ります。
出力様式は「ログ」「降順」で表示しています。

■グラフ表示



■レポート表示



■いずれの表示形式でも、１画面に表示できない場合は画面にスクロールバーやページ送りが表示されます。
そのような場合でも、印刷すると複数ページで印刷されます。

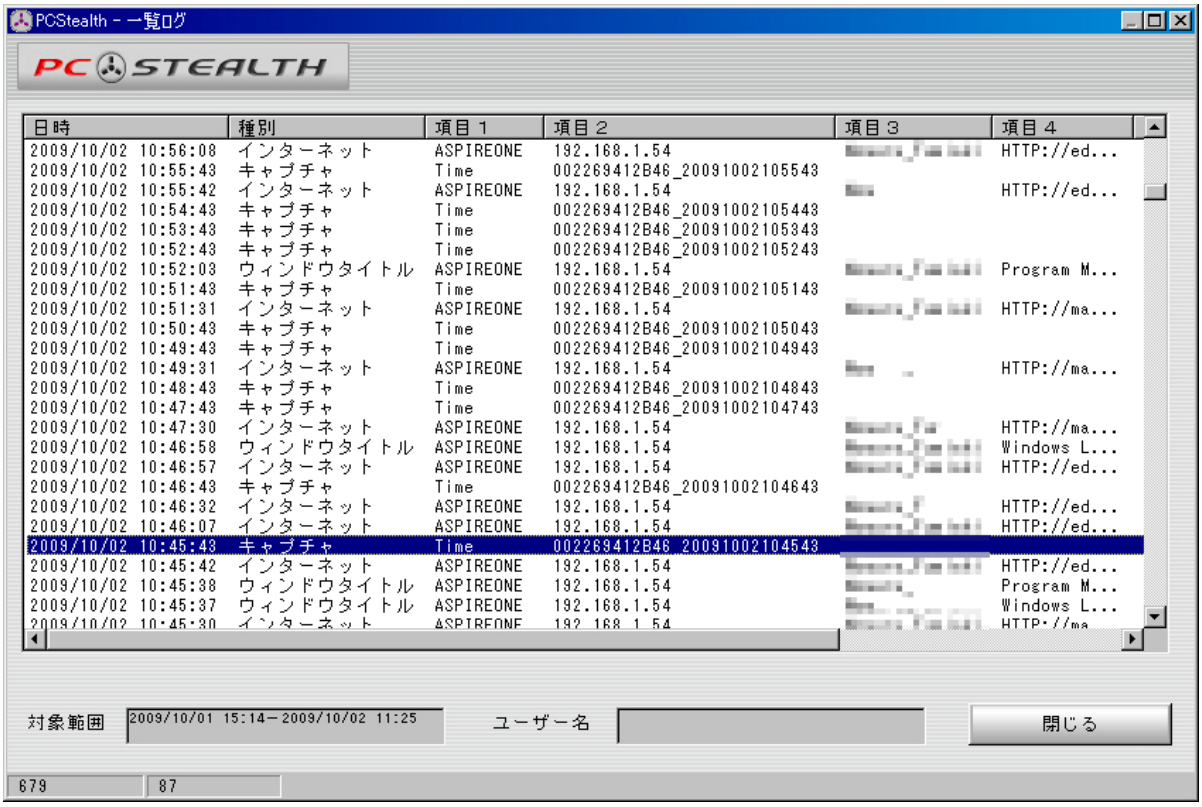
■「印刷」を選択すると、プリンタ選択画面になり印刷を行うことができます。

■「エクスポート」を選択すると、データをCSVファイルで名前をつけて保存できます。

■操作が終了したら、「閉じる」を選択します。

8-1　一覧ログ　≪一覧画面から対象を指示し「一覧ログ」を選択します。

種類によらない全てのログを一度に表示することができます。
日時と種別以外は表示することができません。



■ログを指定してダブルクリックすると、ログを表示します。
■各項目の幅はドラッグで変更できます。ダブルクリックで最大幅になります。
■表示幅が限られますので、左右のスクロールバーを使用してください。

■操作が終了したら、「閉じる」を選択します。

株式会社ワイズ
東京都千代田区外神田2-2-19丸和ビル